

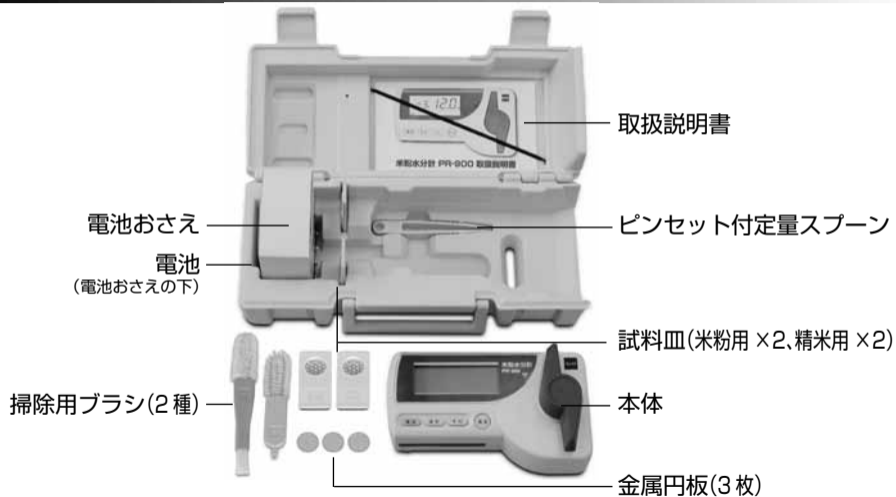


米粉水分計 PR-900 取扱説明書

このたびは、米粉水分計 PR-900 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本器は、簡単な操作で米粉の水分測定を行うことができますが、正確な水分測定のためには、正しい操作が必要となります。使用に当たっては、この取扱説明書を十分にお読みいただきたく、お願い申し上げます。

セットの内容	4
各部の名称	5
表示部の説明	6
電池の入れ方	8
測定の前に	9
測定方法	10
平均水分の求め方	19
保管方法	20
仕様	21

セットの内容



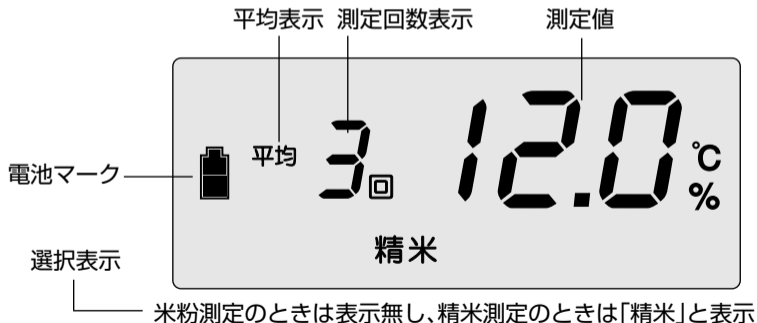
各部の名称








表示部の説明

本器はオートパワーオフ機能を採用しています。電源を入れた後、何も操作しないと、約5分後に自動的に電源が切れます。

また、表示部にバックライトを採用しているので、暗い場所でもはっきりと表示を読み取れます。



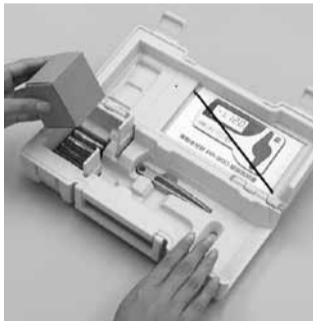
特殊マークの意味 表示部は次のようなマークを表示することがあります。

- 電池マーク**
-  **正常** 電池は正常です。
(電源ボタンを押した直後に表示)
 -  **注意** 電池がやや消耗しています。
(電源ボタンを押した直後に表示)
 -  **注意** 電池が空です。新しい電池と交換してください。
(電源ボタンを押した直後に表示、および使用中に表示)
- オーバーマーク**  **注意** 測定した試料が測定範囲の上限を超えたとき表示します。
- アンダーマーク**  **注意** 測定した試料が測定範囲の下限を下回ったときや、試料皿と本体測定部の接触が良くないときに表示します。(18ページ参照)

●試料皿を空で測定したときや、測定部が結露、高湿度、汚れ等によって絶縁不良を起こしているときは、オーバーマークやアンダーマーク、あるいは意味のない水分表示をすることがあります。このようなときは、測定部を掃除し、十分に自然乾燥させてください。

電池の入れ方


- 1 キャリングケースから本体を取り出します。
- 2 電池おさえの下から電池を取り出します。
- 3 本体裏側の電池ボックスを開け、電池 4 本を正しくセットします。



電池の入れ方

測定の前に

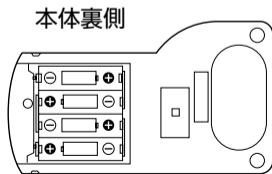
電池の交換について

- 電池が消耗すると、表示部の左側に  (電池マーク) が点灯します。新しい電池を4本(単3)とも交換してください。
- 電池は使用していないときでも徐々に放電しています。常に新しい電池を使用することをお奨めします。

機器温度と試料温度をなじませる。

- 本器は温度補正回路を搭載していますが、測定前には本器と測定試料を周囲の環境温度に充分なじませてください。

電池のプラス
マイナス(+) (-)
の方向を正しく
入れてください。



測定方法

- 1 電源ボタンを押します。バックライトと表示部のすべての文字、マークが2秒間点灯する全表示になります。

● 電源ボタンを押した直後の全表示



バックライトが消え、測定待ちの状態になります。

● 「米粉」測定の状態



2 ピンセット付定量スプーンに米粉を一杯とり、掃除用ブラシの柄を使用し
てすりきります。



3 米粉を試料皿にのせ、軽く振って平ら
にならします。



測定方法

- 4 米粉の上に金属円板をのせ、指で軽く押さえます。金属円板をのせた状態で測定を行います。



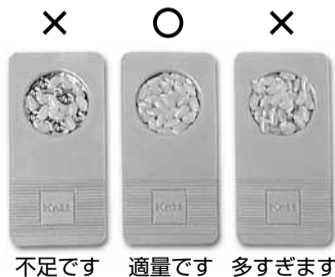
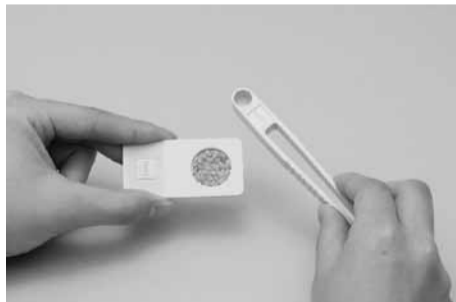
- 5 精米を測定するときは選択ボタンを押し、表示部の下部に「精米」と表示している状態にしてください。「米粉」の測定に戻るときは再度選択ボタンを押し、「精米」の表示を消してください。「精米」の表示が消えている状態が「米粉」の測定状態です。選択ボタンを押すと「米粉」と「精米」は交互に切り替わります。一度選択した項目は、電源を切っても記憶しています。

●「精米」測定の状態



測定方法

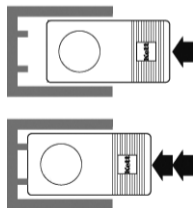
- 6 精米を測定するときは、ピンセット付
定量スプーンを使って、試料を試料皿
にちょうど、ひとならびになるように
採ります。



(写真の例は玄米ですが、精米の場合も同様です。)

7 ハンドルを反時計方向に回転させ、試料皿が測定部に入るようにします。試料をのせた**試料皿**を、測定部の奥まで差し入れます。試料皿は奥に突き当たる**所定位置**まで入れてください。

注: 試料皿が**所定位置**まで入っていないと、ハンドルの先端が試料皿のプラスチック部分を破損させる恐れがありますので、必ずしっかり差し入れてください。



▲ 試料皿 所定位置

良い例

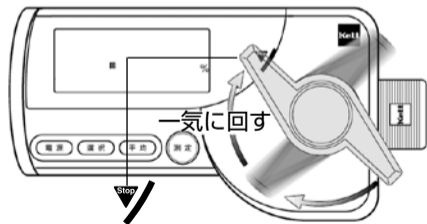


悪い例



測定方法

- 8 ハンドルを時計回転方向へゆっくり回すと、ハンドルの先端が試料に当たるのがわかります。そこでハンドルをしっかり持って、一気に「**ハンドルストップマーク**」まで締め込みます。



ハンドルストップマーク ゆっくり回す

- 9 **測定ボタン**を押すと小数点が点滅し、その後にバックライトが点灯し**水分と測定回数**を表示します。バックライトは4秒間で消えますが、水分はそのまま表示し続けます。5分を経過すると、自動的に電源が切れ表示も消えます。表示中に電源ボタンを押すと、手動で電源を切ることができます。



- 10** 「エコモード」にするとバックライトが点灯せず、電池寿命を延ばせます。
- 設定は以下のいずれかの状態のときに、平均ボタンを5秒間押し続けます。
- ①電源ボタンを押し測定待ちの状態。
 - ②測定後で水分値を表示中の状態。
 - ③平均値を表示中の状態。
- 表示部左上に「エコ」と表示します。
- 電源を切ってもエコモードは記憶されています。エコモードの解除は「エコ」表示のとき、平均ボタンを5秒間押し続けます。「エコ」表示が消えます。

- 11** 連続して測定するときは、前回の測定値を表示している間に、次の測定を行ってください。
- 試料を入れ替えて、一気にハンドルを回し、測定ボタンを押します。
- 前回の測定値が消え、新しい測定値を表示します。**このとき測定回数
の表示も変化します。

測定方法

12 測定のとど、試料皿入口と試料皿、金属円板をきれいにしてください。(写真 1、2、3) 前回の試料が残っていると、正しい測定ができません。

また、連続して測定するときは、ときどきハンドルを外して、ハンドル先端部や接触部に付着した試料やゴミを取り除いてください。(写真 4、5)



平均水分の求め方

何回か測定した後で**平均ボタン**を押すと、測定した水分の平均値を求めることができます。測定回数 2 ~ 9 回までの**平均値**を、**平均**の文字と**回数**とともに表示します。



注 1:水分の平均値を求めるときは、測定の後 5 分以内に平均ボタンを押してください。前回の測定値の表示が消えると、平均の機能は使えません。

なお、次のようなときには、初期状態に戻ります。

- 電源が切れたとき。
- 選択ボタンを押したとき。
- 平均ボタンを押したとき。
- 連続測定が 9 回を過ぎたとき。

注 2:平均値の表示中は、**平均**の文字を表示します。

保管方法

本器を長期間保管する場合には、次のことを守ってください。

- 電池は必ず外してください。
- 本体各部を**ていねい**に掃除してください。特に測定部はハンドルを外し、内部の接触部分をよく掃除してください。
- 本器は、付属品とともに、必ず**キャリングケース**に入れ、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。



測定対象	米粉、精米
測定範囲	米粉 8.0～18.0%、精米 11.0～20.0% (但し米粉は20℃以上。20℃以下で測定した場合、低水分試料の測定精度は下がります)
測定精度	米粉 標準誤差 0.25% (1 σ) (135℃、3g、1時間法) 精米 標準誤差 0.25% (1 σ) (105℃、5g粉砕、5時間法)
表示方式	デジタル (LCD、最小表示桁0.1%、バックライト付き)
使用温度範囲	5～40℃
温度補正	サーミスタによる自動温度補正
電 源	電池1.5V (単3) ×4、オートパワーオフ機能5分
消費電力	最大0.3W
寸 法	164 (W) ×94 (D) ×64.5 (H) mm
質 量	約445g
付 属 品	米粉用試料皿×2、精米用試料皿×2、金属円板×3、掃除用ブラシ2種、ピンセット付定量スプーン、電池 (単3) ×4、キャリングケース

製品の保証とアフターサービス

■ 保証書

この製品には保証書がついています。保証書は当社がお客さまに、保証書に記載する保証期間内において、また記載する条件内での無償サービスをお約束するものです。記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

■ 損害に対する責任

この製品（内蔵するソフトウェア、データを含む）の使用、または使用不可能により、お客さまに生じた損害（利益損失、物的損失、業務停止、情報損失など、あらゆる有形無形の損失）について、当社は一切の責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客さまがお支払いになった、この商品の代価相当額を上限とします。

■ 定期点検

この製品の性能を確認し維持するために、定期的な点検を受けられることを推奨いたします。製品の使用頻度によりますが、年1回程度を目安とすると良いでしょう。点検は本製品をお求めになった販売店、または当社へお問い合わせください。

■ 修理

「故障？」と思われる症状のときは、この取扱説明書に記載されている関連事項や、電源・接続・操作などを再度お確かめください。それでもなお改善されないときは、本製品をお求めになった販売店、または当社へご連絡ください。

■ 校正証明書

当社の製品はISO 9001、品質マネジメントシステムに準拠して製作されています。お客さまのご要望によって校正証明書の発行が可能です。製品の種類、状態によっては不可能な場合があります。本製品の校正証明書発行については、お求めになった販売店、または当社へお問い合わせください。

株式会社ケット科学研究所

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを固く禁じます。
- 本書の内容につきましては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載されている製品および付属品の外観・画面等は、実際と異なる場合がありますが、操作・機能には影響ありません。
- 本書の内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、ご不明点や誤り、記載漏れ等お気づきの点がありましたら、弊社までご連絡ください。
- 本書を運用した結果の影響につきましては、上項に関わらず、責任を負いかねますのでご了承ください。



東京本社 東京都大田区南馬込 1-8-1 〒143-8507 TEL(03)3776-1111 FAX(03)3772-3001

大阪支店 大阪市東淀川区東中島 4-4-10 〒533-0033 TEL(06)6323-4581 FAX(06)6323-4585

札幌営業所 札幌市西区八軒一条西 3-1-1 〒063-0841 TEL(011)611-9441 FAX(011)631-9866

仙台営業所 仙台市青葉区二日町 2-15 二日町鹿島ビル 〒980-0802 TEL(022)215-6806 FAX(022)215-6809

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅 5-6-18 伊原ビル 〒450-0002 TEL(052)551-2629 FAX(052)561-5677

九州営業所 佐賀県鳥栖市布津原町 14-1 布津原ビル 〒841-0053 TEL(0942)84-9011 FAX(0942)84-9012

● URL: <http://www.kett.co.jp/> E-mail: sales@kett.co.jp